

第4回羽村市長期総合計画審議会 ＜議事内容の説明＞

第4回羽村市長期総合計画審議会の書面開催について

現在、東京都には、3月21日（日）まで緊急事態宣言が発出されており、出勤や通院、散歩など生活や健康の維持に必要な外出を除き、不要不急の外出・移動の自粛、特に午後8時以降の外出自粛の徹底などが求められ、夜間の時間帯に参集による対面式での会議を開催することは難しい状況にあります。

そのため、令和3年3月15日（月）に予定しております会議については、前回と同様に、書面による開催とさせていただくことといたしました。

第4回羽村市長期総合計画審議会の議事内容は、（1）市民意見聴取の結果について、（2）職員プロジェクトチームによる検討の結果について、（3）基本構想の策定に向けてであり、「羽村市の強みや弱み」、「10年後の羽村市のまちの姿」などに関する市民の皆さんや市職員の検討結果などをご覧いただき、まずは、委員の皆さんそれぞれのご意見やお考えをお聞かせいただく内容であることから、今回も書面会議による開催の対応とさせていただきました。

委員の皆様には、通常とは異なる会議の開催により、ご負担をおかけいたしますが、現下の状況を踏まえた対応としてご理解くださいますよう、よろしくお願いたします。

議事（1）市民意見聴取の結果について

■ 一般市民向けワークショップ（資料1、資料1-1）

（説明）

資料1をご覧ください。

第六次羽村市長期総合計画の策定にあたっては、市民同士や市民と職員との対話の中で、羽村市の宝や未来に残していきたいもの、市の強みなどを把握し、未来の羽村市の姿を検討するため、3つのワークショップを実施しました。

市民ワークショップの一つ目は、一般市民向けのワークショップとして、10月17日（土）、30日（金）、11月8日（日）の3回、多くの人に参加いただけるように曜日や時間を変えて実施いたしました。

今回は、市政世論調査や転入者アンケートにおける無作為抽出の対象者にワークショップへの参加を呼び掛けたほか、広報はむらや市公式サイトなどで募集を行いました。

全3回の開催の中では、市民の方延べ33人と市職員5人が参加し、第1回では、「考えよう！羽村市の宝や未来に残していきたいもの、市の強み」をテーマに、未来につながるキーワードを出し合いました。

第2回では、「考えよう！10年後の羽村市の姿」をテーマに、羽村市の理想の生活やまちのコンセプトを考えていただきました。

第3回では、「考えよう！10年後の羽村市の姿を目指してできること」をテーマに、羽村市の未来のためにできることを考え、市民・団体・事業者、行政の取組みなどに分類するとともに、参加していただいた方がそれぞれにできること、やりたいことを発表していただきました。

資料1-1は、第1回から第3回までのワークショップで出た意見や検討の内容などをそれぞれにまとめております。「一般市民向けのワークショップ」では、未来につながるキーワードとして、3グループ共通して、「市にあるものを活用すること」が挙げられました。

また、10年後の羽村の理想の姿では、「コミュニティバスはむらんを活かし、誰でも便利な生活ができるまち」、「市民のアイデアを活かし、人々が集まりやすいまち」、「ソフトとハードの調和を活かして安心な生活ができるまち」などが発表されました。

■ 子育て世代向けワークショップ（資料1、資料1-2）

市民ワークショップの2つ目は、「子育て世代向けワークショップ～おしゃべりCafe in Hamura Zoo 語ろう 羽村の宝&10年後の羽村」です。

「はむら家族プロジェクト」の取組みにも位置づけ、動物公園の芝生広場を会場に、リラックスした雰囲気の中で、子育て中の家族で話し合う取組みとして、11月4日（水）と8日（日）に実施しました。

対象は、市内在住・在勤で、乳幼児から小学生のお子さんがいる方とし、10家族28人に参加していただきました。

資料1-2は、ワークショップで出た意見をまとめたもので、「羽村の良いところ・好きなどころ」、「残念・いまいちなどころ」、「こんなはむらで子育てしたい」、「10年後、その先へ残していきたいもの」、「10年後のはむらはこんな街であって欲しい」などについて、さまざまな意見をいただきました。

■ 若者世代向けワークショップ（資料1、資料1-3）

市民ワークショップの3つ目は、「若者世代向けワークショップ～オンラインで語ろう、羽村市の10年後 羽村のワカモノワークショップ」です。

新型コロナウイルス感染症により、若者世代を取り巻く環境が変化してきていることを踏まえ、市では初めての取組みとしてウェブ会議ツール「Zoom」を活用したオンラインワークショップを11月18日（水）に実施しました。おおむね10代から30代の市内在住・在勤・在学の方を対象に、5人に参加していただきました。

資料1－3は、オンラインワークショップで出た意見をまとめたもので、「羽村市のイメージ」、「羽村のイケてるところ・イケていないところ」、「10年後の理想の暮らし」、「10年後の羽村市はどんなまち」について、様々な意見をいただきました。

オンラインワークショップは、2回実施する予定で進めておりましたが、参加者が5人で1回の開催で様々な対話をすることができましたので、1回のみの実施といたしました。

初めての取り組みでありましたが、参加した方からは、「他の人の話を聞くことで新たな発見があったこと」や、「羽村の良さを改めて感じたこと」、「オンラインでの開催で、一人ひとりの言葉に集中でき、心にささる感じがした」といったご意見をいただきました。

■ 市民意見聴取結果の傾向について（資料2）

資料2をご覧ください。

今回は、資料1、資料1－1、1－2、1－3で説明した3つのワークショップで出た意見等をAIによるテキストマイニングを活用して分析・可視化し、傾向を示してみました。

2ページ・3ページは、「羽村市の良いところ・強み」について、3つのワークショップで「多く出現した言葉（2ページ）」、「共起キーワード（3ページ）」を示しています。

4ページ・5ページは、「羽村市の良くないところ・弱み」について、3つのワークショップで「多く出現した言葉（4ページ）」、「共起キーワード（5ページ）」を示しています。

6ページ・7ページは、「10年後の羽村市の姿、10年後の羽村市に必要なこと、できると良いこと」について、3つのワークショップで「多く出現した言葉（6ページ）」、「共起キーワード（7ページ）」を示しています。

そして、8ページ・9ページは、これまでの3つをすべて合わせて分析したもので、「多く出現した言葉（8ページ）」、「共起キーワード（9ページ）」を示しています。

（1ページ）

それぞれの図の見方について、「多く出現した言葉」では、多く出現した言葉が多いほど、大きい文字で表示しています。単語の色、出現頻度、スコアについては、

1 ページに記載したとおりであります。

続いて、共起キーワードについては、ワークショップで出た単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い単語（言葉）ほど大きな円で示され、共起（ある文字列とある文字列が同時に出現すること）の程度が強いほど太い線で示しています。

また、線で結ばれている円の距離が近いものは、共起関係があることを示しています。

まず、2 ページ「1. 羽村市の良いところ、強み」をご覧ください。

多く出現した言葉のうち、出現頻度では、「多い」、「保育園」、「行ける」、「良い」という言葉が多く出現しており、スコアでは、「水車小屋」、「動物公園」、「玉川上水」、「頼みやすい」などの言葉が多く出現しています。

続いて、3 ページの共起キーワードの図では、

- ① として、コンパクトで歩いて行ける、新型コロナウイルスの商業支援
- ② として、羽村は自然（堰やチューリップ畑）がある
- ③ として、動物公園では、〇〇できる
- ④ として、きれいで明るい

といったことが、「羽村市の良いところ・強み」として挙げられる傾向があると考えられます。

次に、4 ページ「2. 羽村市の良くないところ・弱み」をご覧ください。

多く出現した言葉のうち、出現頻度では、「少ない」、「良い」、「悪い」、「公園」、「知る」などの言葉が多く出現しており、スコアでは、「はむらん」、「羽村駅」、「企業誘致」、「屋外プール」などの言葉が多く出現しています。

続いて、5 ページの共起キーワードの図では、

- ① として、はむらんの本数が少ない
- ② として、アクセスが悪い

といったことが、「羽村市の良くないところ・弱み」として挙げられる傾向があると考えられます。

次に、6 ページ「3. 10年後の羽村市の姿、10年後の羽村市に必要なこと、できると良いこと」をご覧ください。

多く出現した言葉のうち、出現頻度では、「はむらん」、「まちづくり」、「玉川上水」、「生かす」、「暮らせる」などの言葉が多く出現しており、スコアでは、「できる」、「いく」、「活かす」などの言葉が多く出現しています。

続いて、7ページの共起キーワードの図では、

- ① として、まちづくりの場所や参加について、分かりづらい、集まれる場所や情報発信があると良い
 - ② として、羽村は住むのに程よい
 - ③ として、子育てしやすいことを進めると良い
 - ④ として、往来できると良い
 - ⑤ として、はむらんでの移動が難しい
 - ⑥ として、高齢者が安心して暮らせるまちであると良い
 - ⑦ として、羽村は都会である
 - ⑧ として、羽村市を広める、知ってもらおうと良い
- といったことが、「10年後の羽村市の姿、10年後の羽村市に必要なこと、できると良いこと」として挙げられる傾向があると考えられます。

次に、8ページ・9ページ、「これまでの3つをすべて合わせて分析した結果」をご覧ください。

9ページの共起キーワードでは、

- ① として、高齢者が暮らせるまち
 - ② として、充実した施設や歴史を活かしたまち
 - ③ として、必要なこと（もの）を（して）もらえる
 - ④ として、長く住むにはいい
 - ⑤ として、子育てしやすいを進める
 - ⑥ として、変わってほしい
 - ⑦ として、羽村市を広める
 - ⑧ として、多摩川やチューリップの自然が癒し
- といったことが、市民の皆さんが感じている傾向にあると考えられます。

市民意見聴取の結果（資料1、資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料2）をご確認いただき、ご意見・ご質問等がございましたら、提出書類2「第4回羽村市長期総合計画審議会 意見書 議事（1）市民意見聴取の結果について」にご記入いただき、ご提出くださいますようお願いいたします。

議事（2）職員プロジェクトチームによる検討の結果について

（説明）

資料3をご覧ください。

第六次長期総合計画の策定に向けて実施した「職員プロジェクトチームによる検討の結果」をまとめたものとなります。

職員プロジェクトチームは、入庁2年目から8年目までの職員23人で構成し、8月から10月にかけて6回にわたって、10年後の羽村市のまちの姿や、具現化するための取組みなどについて、SWOT分析（※）やターゲットの設定など、マーケティング手法を活用しながら「まちのコンセプトやまちのビジョン、市のミッション」などについて、5つのグループに分かれて検討を行い、その検討結果を庁内で発表してもらいました。

（※）SWOT分析：強み（Strengths）、弱み（Weak）、機会（Opportunities）、脅威（Threats）の4つのカテゴリーで要因分析すること

現在の羽村市の強みや弱み、ピンチとチャンス洗い出し、これからのまちづくりに必要なことなどについてターゲットを設定して、検討を進めたものであり、それぞれのグループからは、「子育て世代のUターンの促進」、「稼げる行政」、「デジタル時代における「変化への対応」、「働く」、「アフターコロナにおける防災の在り方」がテーマとして挙げられ、これからの羽村市が取り組むべき、「まちのコンセプト」や「まちのビジョン」などの提案を行いました。

各グループが検討した内容については、資料に記載のとおりであり、提案内容や事業等は、第六次長期総合計画の検討において参考としてまいります。

職員プロジェクトチームによる検討の結果について（資料3）をご確認いただき、ご意見・ご質問等がございましたら、提出書類2「第4回羽村市長期総合計画審議会 意見書 議事（2）職員プロジェクトチームによる検討の結果について」にご記入いただき、ご提出くださいますようお願いいたします。

議事（3）基本構想の策定に向けて

（説明）

第1回の審議会でご説明をさせていただきましたが、市の長期総合計画は、「基本構想－基本計画－実施計画」の三層で構成する体系となっています。

「基本構想」は、市行政の総合的かつ計画的な運営を図るための指針として、将来のまちの姿や目指すべきまちづくりの方向性などを示すものであります。そして、「基本計画」は、「基本構想」の実現に向けて実施していく施策や取組みなどの方向性を示すものであり、「実施計画」は、財政計画を踏まえながら、基本計画に掲げた取組みの方向性に基づいて実施する具体的な事業を示すものであります。

長期総合計画審議会では、「基本構想・基本計画」部分を中心にご審議をいただくこととしておりますが、まずは、これからのまちづくりの指針となる「基本構想」部分についての検討を進めさせていただきたいと考えております。

現在、市内では、本日お示しいたしました市民ワークショップや職員プロジェクトチームによる検討結果、また、本年1月下旬に各委員に郵送で配布させていただいた「令和2年度羽村市市政世論調査」と「令和2年度羽村市転入者アンケート調査」の結果などを踏まえながら、将来のまちの姿やまちづくりの考え方、まちづくりのコンセプトなどを定める基本構想の素案の検討を進めています。

今回の審議会では、市民意見聴取の結果やアンケート調査の結果などを踏まえながら、

- ・10年後、羽村市がどのようなまちであってほしいか。
そのまちになるために、委員の皆さんができることは何か。
※羽村の良いところ、改善が必要なところ、未来に残していきたいこと（もの）
新たに挑戦すべきこと など
- ・どのような個性や独自性（アイデンティティ）を持ったまちでありたいか。
- ・羽村市の将来のまちの姿を示すキーワードは何か。

などについて、それぞれの委員のお考えやご意見などがございましたら、提出書類2「第4回羽村市長期総合計画審議会 意見書 議事（3）基本構想の策定に向けて」にご記入いただき、ご提出くださいますようお願いいたします。基本構想の素案の検討の際に、参考といたします。

2 その他

■ 第3回審議会での意見と市からの回答について

資料4をご覧ください。

書面会議で実施させていただきました第3回長期総合計画審議会について、委員の皆様より多くのご意見やご質問をいただきました。いただいたご意見・ご質問と市からの回答について取りまとめましたので、ご確認をお願いいたします。

他の委員の意見や、市からの回答について、ご意見・ご質問等がございましたら、提出書類2「第4回羽村市長期総合計画審議会 意見書 第3回審議会での意見・市からの回答に対する追加意見等」にご記入いただき、ご提出くださいますようお願いいたします。

■ その他

全体を通じて、ご意見やご質問などがございましたら、提出書類1「確認書」の「2 その他（2）」の自由記入欄にご記入いただき、ご提出くださいますようお願いいたします。

説明は以上となります。

何かご不明な点等がございましたら、下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。